

札幌発国会行！労働法制改悪阻止の息吹集まる！

5月7日 労働法制改悪阻止に向けた全国キャラバン札幌集会ひらく

全国の非正規労働者が参加する労働組合「コミュニティ・ユニオン全国ネットワーク」は安倍政権が成立を目論む高度プロフェッショナル制度等の労働法制改悪を阻止するための全国キャラバンを展開しています。

5月7日は18時30分から自治労会館でコミュニティ・ユニオン全国ネットワーク北海道ブロックが主催し組合員・市民等40名が参加しました。

同ネットワーク本部の岡本哲文事務局長は「今の労働法制の下でも脱法行為が堂々に行われ、多くの労働者・家族が犠牲となっている。労働組合が主体となって安倍政権の狙う労働法制改悪を阻止しよう！」と呼びかけました。

労働弁護団からは中村優介弁護士（日本労働弁護団事務局次長）が政府案の内容を解説し労働者や家族のための生活向上にはつながらない悪法と指摘しました。また、上田絵理弁護士（同弁護団北海道ブロック事務局長）は「これまでも地域の労働組合と所属を超えた共闘を進めてきている、今後も共闘を進め、反対の声を上げていこう」としました。

このキャラバン隊は4月20日に帯広と沖縄からスタートし5月22日の東京日比谷野外音楽堂集会を目指し各地で労働弁護団や市民団体等と共に集会を開き、国民の総意で労働法制改悪を阻止しようと呼びかけます。

本集会は札幌パートユニオン新野会長が、今日の集会の熱い息吹を全国各地に届け、大きな塊にして労働法制改悪阻止を実現しようと、檄を飛ばし閉会しました。

